

NPO法人練馬家族会

特定非営利活動法人 練馬精神障害者家族会

2018年10・11月号

発行元：NPO法人練馬家族会事務局 〒176-0002 東京都練馬区桜台1丁目6-3吉村ビル303

URL: <http://www.nerima-kazokukai.net/> Tel&Fax.No.: 03-3994-3382 E-Mail: info@nerima-kazokukai.net

当会では、精神障害者が共に普通に暮らしていける地域社会の実現を目指しています。家族の思いを分かちあう交流会、および勉強会、一般の方々の理解と協力を得るための活動、障害者がより質の高い生活を送るための支援などをおこなっています。

—皆さまのご参加をお待ちしています—

- **家族交流会**・他の家族の方々とお話ししてみませんか。
 - ・日時：第4金曜日 13:30～16:30 ※11月交流会は11月30日(金)に変更します。
 - ・場所：区民・産業プラザ(ココネリ)3階 研修室5(練馬駅北口1分)です。
 - ・初めての方は事前にご連絡ください。
- **電話相談**：精神障がい者相談員による電話相談が始まりました。連絡先は8ページをご覧ください。

- ・練馬家族会のホームページには是非お越しください。なお、URLは <http://www.nerima-kazokukai.net> です。今年からホームページに会報がアップされています。ご覧ください。
- ・会員投稿に関しては、法令、制度や固有名詞等以外の「障害」表記は原則として「障がい」または「障碍」とします。

練馬区平成31年度予算要求について

恒例の予算要求の季節が到来しました。8月下旬に練馬区自由民主党、公明党、国民民主党・無所属、日本共産党、市民の声ねりまへ要求書を提出しました。ご同道頂いた皆様には御礼申し上げます。

予算要求項目は次の通りです。

1. 精神障害者にも身体障害者、知的障害者と同レベルの医療費助成をして頂きたい。

お陰様で、本件は平成29年3月30日の都議会で東京都連(東京つくし会)が提出した「マル障請願」が全会一致で採択され、現在、東京都福祉保健局医療助成課を窓口にして平成31年1月1日より実施されることになりました。しかしながら、手帳保持者1級迄ですので、引き続き2級、3級に拡大して頂きたいとお力添えをお願いします。

2. 心身障害者福祉手当の精神障害者への支給額の増額及び対象者を拡大して頂きたい。

心身障害者福祉手当については、お陰様で家族会陳情の通り採択され、平成30年4月1日から、「精神障害者保健福祉手帳1級」の方々に対し、月額10,000円が支給されることになりました。年齢制限65才以下、所得制限もありますので、極めて限定的であります。今後は、次の2点を要望いたします。

- ① 他の障害者なみの、月額15,500円の支給にして頂きたいこと
- ② 精神障害者福祉手帳所持者3級までとして頂きたいこと

ご参考：練馬区の精神障害者保健福祉手帳交付件数(平成28年度)

1級	314名	5.1%
2級	3,143名	52.1%
3級	2,584名	42.8%
合計	6,041名	

(予算化に必要な予算(概算)一人当たり15,500円/月×12=186,000円。)

他区の実施状況をみると、精神障害者保健福祉手帳1級に限定され、次の通り極めて限定的な人数になっています。

・品川区：45人、8500円	平成27年度	50名
・大田区：30人、4500円	平成27年度	104名
・杉並区：117人、5000円	平成27年度	102名
・足立区：145人、4000円	平成27年度	173名
・世田谷区：284人、5000円	平成27年度	150名
・文京区：28人、5000円	平成27年度	28名
・北区：155人、10,000円	平成25年度	155名

因みに、この心身障害者福祉手当は本来東京都の制度であり、昭和49年(1974年)から実施されています。対象は身体障害者1級・2級と知的障害者1～3級、脳性麻痺、筋ジストロフィーの方については、毎月15,500円が年3回62,000円(年間186,000円)ずつ支給されています。

3. 福祉タクシー券を他の障害者並に支給して頂きたい。

また、リフト付きタクシーの予約、迎車に掛かる費用についても他の障害者と同様の扱いをして欲しい。

理由：

現在、練馬区での福祉タクシー券の対象者は身体障害者手帳の障害種別(下肢機能、体幹機能、移動機能、視覚、内部障害)1～3級、愛の手帳1・2度の方に1ヶ月3,500円支給されていますが(所得制限あり)、精神障害者には支給されていません。

4. グループホームの数の増加と充実

現在練馬区の精神障害者向けグループホームは36カ所定員207人です。なお、知的障害者向けは37カ所定員209人です。(東京都福祉保健局発行道しるべ・平成30年版)。

障害者の自立した生活を推進するため、居住の場として世話人の家庭的ケアにより心の通った共同生活を行うグループホームの整備が望まれています。

精神障害者の高齢化や合併症を併発する障害者が増加しています。そのような障害者のための、看護師の配置等による手厚いケアのできるグループホームの設置もお願いいたします。

現在練馬区の精神障害者向けグループホームは36カ所定員207人です。なお、知的障害者向けは37カ所定員209人です。(東京都福祉保健局発行道しるべ・平成30年版)。

東京都の調査によれば、障害者の住まいの種類の中で、グループ・ホームの割合は、身体9.3%、知的9.7%、に対し**精神3.1%**は依然として低い状態です。また、「一緒に暮らしている人」では、**精神の場合は「一人で暮らしている」37.7%**でニーズは最も高くなっています(東京都の「障害者生活実態調査」—平成25年度より)。

東京都障害福祉計画(平成30年度～32年度)では「通所施設、短期入所施設やグループホーム等、**8,180人分の整備**を促進します。」としていますが、都は現在「通過型」のグループホームしか認めていませんが、「滞在型」への需要は多く、将来的には「滞在型」への傾斜を希望します。

5. 精神障害者の高齢化に伴う諸問題

① 精神身体合併症について

精神障害者の高齢化に伴い、精神身体合併症(精神疾患と身体疾患の両方に罹患している状況)を伴うケースの増加が見込まれます。

精神障害者が抱える何らかの身体疾患は一人当平均で2個をもっており、歯科・口腔外科と内科で76.3%を占めています。内科では、肥満等を伴う生活習慣病が多く見られます。かつ、医療費負担で家族に迷惑をかけたくないという理由で受診できていない状況です(「東京に暮らす精神障がい者の医療費の負担度に関する調査」報告書—東京つくし会2017年7月)。

練馬区内の三つの精神科病院のうち、内科を診療科目に持っているのは慈雲堂病院だけで、精神疾患を患いながら歯科・口腔外科、又は内科との併診は費用負担も含め難しい状況にありますので、総合病院の設置を含めご検討頂きたい。

② 障害者特に精神障害者には、いわゆる「8050問題」があります。いわゆる80代以上の高齢者が50代前後の障害を持っている子供と在宅する問題です。親の介護も避けて通れないが、障害者の65才以降の問題につき事前に備える必要に配慮して欲しい。

また、障害福祉サービスと介護保険サービスの切れ目のないサービスを提供する人材養成と負担軽減につき検討頂きたい。

(ア) 介護保険サービスの利用者負担(1割)が重荷になる。これを軽減するよう利用者負担を軽減(償還)する仕組みにすること

(イ) ケアマネジャーの変更があっても、継続性のある障害福祉サービスプラス介護保険サービスの円滑な利用が可能な人材育成。特に、精神疾患に必要な薬の処方につき切れ目のないサービスを提供する。

③ 終の棲家となる介護事業所の倒産または経営不振による障害者の放り出し又は劣悪な状態に置くことのないようなバックアップ体制を検討して頂きたい。

6. 差別解消のための条例制定を検討して頂きたい。

理由：

差別解消に積極的に取り組む姿勢を打ち出して欲しい。現在、東京都は「障害者差別解消に関する条例」を10月1日からの実施に向けて検討中ですが、練馬区も都条例のレベルまで引き上げた区条例の制定の検討を始めて頂きたい。(松沢)

(「障害」の「害」については原文のままです。)

「精神科の最近の薬について」
～正しい服薬、副作用、注射剤の使い方～

日時：2018年7月27日（金）14：00～16：00

場所：練馬区産業・区民会館 3階 研修室5

講師：陽和病院診療部長 望月 航医師

「向精神薬」と「抗精神病薬」という言葉がある。この違いは「向精神薬」が精神に向かう薬の意味で、精神病域に使うすべての薬の事である。具体的には抗精神病薬、気分安定薬、抗てんかん薬、睡眠薬や漢方薬などを含んだ薬の総称である。これに対し「抗精神病薬」とは「向精神薬」の中で精神病に処方される薬の事である。わかりやすく言うと統合失調症の抗幻覚・妄想・幻聴と抗興奮の作用をする薬とうつや両極性障害に対する抗うつ剤や気分安定剤ことである。

統合失調症の脳で起こっていることは、中脳辺縁系神経路でドーパミンの働きが活発であることにより幻覚・妄想がおきるが、抗精神病薬を飲むことによってドーパミンの供給が制御されて症状が改善するという事である。パーキンソン病はこの逆でドーパミンが少ないことで発症する。

薬には定型薬と非定型薬がある。言い換えると第一世代の薬と第二世代の薬である。定型薬は現在あまり使われないが、コントミン、セレネース、レボトミンやロドピンあたりがまだ使われている。セレネースやレボトミンは注射薬がある。第二世代の薬には、エビリファイ、ジプレキサ、セロクエル、リスパダール、ルーランやロセナン他がある。最近では第三世代の薬として、レキサルティ、インヴェガやシクレストがある。定型薬と非定型薬の違いは、定型薬が主に陽性症状を改善するのに対し、非定型薬は陽性症状を改善するとともに陰性症状にも効果がある薬である。副作用は定型薬が錐体外路症状という副作用(筋肉の固縮、無動又は振戦、舞踏運動等)が多い。定型薬の作用としては、中脳辺縁系神経路に対しドーパミンが抑えられることによって幻覚・妄想などの症状が改善されるが、中脳皮質神経路でのドーパミンがさらに少なくなることにより、やる気が起きないなどの症状が改善されない。非定型薬は錐体外路症状は減少するが、薬によっては体重の増加や血糖値の上昇がみられるというような問題点がある。

1996年に発売されたリスパダールは、副作用が比較的少なく、陽性症状にも陰性症状にも有効な薬として開発された。リスパダールと少し遅れて登場し

たルーランは従来の抗精神病薬とは違う神経伝達物質に作用することで陰性症状にも効くとされている。脳内で様々な働くいろんな神経伝達部室に作用して、全体のバランスをとるようなものが最も効果的ではないかという考えで、セロクエル、ジプレキサ及びエビリファイ等が開発された。

その第二世代の薬には大きく分けて次の三種類がある。

- ① SDA(代表的な薬としてリスパダール・ルーラン) この種の薬はセロトニンという生体リズムや睡眠などを調節する神経物質とドーパミンがシーソー関係であることを利用し、セロトニンのドーパミン抑制効果により丁度良い具合に陽性症状を改善する。さらに前頭葉の神経の働きを高めることによって認知、陰性症状も改善する。
- ② MARTA(代表的な薬としてジプレキサ、セロクエル) この種の薬は、ドーパミン、セロトニン、アドレナリン及びヒスタミンに作用することにより、幻覚、妄想、意欲の減退などの陽性症状や陰性症状の障害を改善する。アドレナリンやヒスタミン等の受容体に作用することによって症状の改善を総合的に図る。
- ③ DSS(エヴリファイ) この薬は、ドーパミンに作用し幻覚・妄想など陽性症状を和らげ、意欲減退などの陰性症状を改善する。双極性障害の躁・鬱状態の治療に役立ち小児期の自閉症スペクトラムの治療に有効である。

近年さらに進化した第三世代と言われる新薬が発売されている。

- ① インヴェガ ①のSDAの後継薬で無駄なく成分が吸収されるようになってきている。重層のカプセルになっていて徐々に効いていくので、平均して効く。
- ② シクレスト ②のMARTAの後継薬で舌下に数分置いておくタイプである。
- ③ レキサルティ ③のDSSの後継薬。

次に注射薬について説明する。注射薬は筋肉に注射することによりじわじわと効いていくものである。この注射薬は第一世代のセレネースやロボトミンと第二世代のリスパダールコンスタ筋注薬、ゼプリオン水懸筋注薬及びエブリファイ持続性水懸筋注薬の計5種類ある。2週間から4週間に1回注射すれば良いので飲み忘れがないとか、期間内の血中濃度が一定して薬が供給されるので、症状が安定するというメリットがある。

(注：この内容は必ずしも講演内容に一致するものではありません。)

(文責 HK 生)

きらら風便り

豊玉障害者地域生活支援センターきらら
所長 菊池 貴代子氏

～災害に備えた取組み～

練馬家族会のみなさまには、日頃より地域生活支援センター、練馬区社会福祉協議会の活動にご理解ご協力をいただき誠にありがとうございます。

また、8月24日（金）は、家族交流会をきららで開催し、その後の「誰でも参加できるSST」に多くの家族会のみなさまにご参加いただきました。家族として、人生の先輩としての視点やアイデアが満載のみなさまと一緒にSSTに取り組み、おだやかな空気感のなかでの充実した時間となりました。

9月6日におきました北海道胆振東部地震により被災されました皆様に、謹んでお見舞い申し上げます。

自然災害は、私たちの想像を超える大きな被害をもたらしました。この夏は、多くの悲しみ・苦しみ、そして災害に向かい合い乗り越える人々の力を目の当たりにしました。

本号では、当初からきららの災害時の取組を紹介する予定でしたが、今あらためて、日頃からの「備え」と「危機管理」の大切さを感じています。きららでは、日頃からメンバーとともに、防災プログラムや避難訓練、地域商店会等との合同訓練等を行っています。防災講座では、現実的な災害場面を想定して具体的な行動を考え、3月11日には災害時の食を考える料理教室を行いました。毎月1日には、災害用伝言ダイヤル（171）を利用した伝言ダイヤルの練習もしています。

BCP（事業継続計画）のもと、様々な発災状況を想定した準備も行っています。今後も、メンバーとともにライフラインが止まった等の想定で訓練を行うことで、現実感のある備えをしていきたいと考えています。

練馬区社会福祉協議会では、大規模災害においては、練馬区と協定を結び、「災害ボランティアセンター」を立ち上げる予定になっています。今後も、地域の人たちとともに、災害に備えていきます。

《平成30年度東ブロック第一回会議》

日時：2018年7月23日（日）13:00～16:20
場所：文京区民センター3階 304会議室
出席：12単会&東京つくし会2名 計24名

轡田副会長の司会で議事開始。

開会挨拶：眞壁会長

- ・平成30年度の執行部を改めて紹介したい。
- ・マル障の申請申込開始は本年11月1日からで、窓口は各区市町村に確認して頂きたい。予算措置は一級迄の支給になったが、今後二、三級への拡大を要求していきたい。
- ・講演会のご案内：東京つくし会主催—10月5日（金）：講師 長谷川利夫先生「精神障害者の身体拘束について」
- ・東京つくし会財政問題は後ほど議論したい。
- ・都精民協の新体制は、東京つくし会が中心となっていく。

本田副会長：東京都への平成31年度要望事項について

マル障での成果を踏まえて平成31年度要通り望事項を纏めた。

東京都及び都議会各会派とのヒアリングに参加して頂きたい。
(松沢)

医療法人社団一陽会

こころのクリニック石神井

当院は予約制となっております。

ご相談の際はまずお電話にてご相談ください。

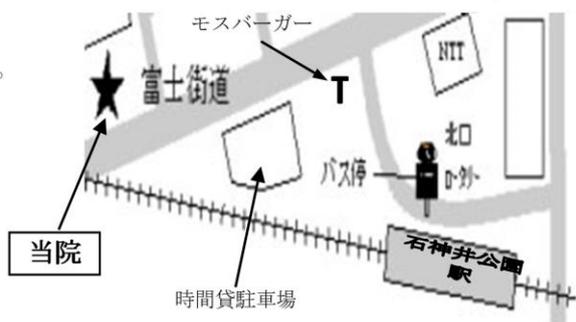
TEL:03-3997-3070

日曜・祝日・水曜日休診

〒177-0041 東京都練馬区石神井 4-3-16-101

●家族相談・精神保健相談

お気軽にご相談下さい



朝日新聞記事より（2018年8月18日）

精神科入院の男性死亡 「不適切な拘束」提訴へ

石川県内の精神科病院に入院していた長男（当時40）が肺血栓塞栓症（エコノミークラス症候群）で死亡したのは不適切な身体拘束が原因として、両親が病院を経営する法人に約8600万円の損害賠償を求める裁判を近く金沢地裁に起こす。精神科での身体拘束を巡っては最近、こうした訴訟が相次いでいる。

訴状によると統合失調症との診断を受けていた長男は2016年12月6日に入院。同月20日、両親は病院から「亡くなった」と連絡を受けた。両親は死因は心不全と聞いたが、警察に連絡して司法解剖したところ、肺血栓塞栓症だった。

裁判所に証拠保全の申し立てをして入手した診療録や看護記録などによると、長男は同月14日から手足と体を拘束されていた。食事のときには一時的に腕の拘束を解かれていた。20日は午前10時に身体拘束を解除され、自らトイレに行った後、ベッドの横で倒れているのを発見された。

精神保健福祉法などによると、自殺や自傷などの危険が切迫し、ほかに方法がないことなどが身体拘束の要件とされる。しかし、14日の看護記録に「前日スタッフへの暴力行為あり」との記述があるだけで、以降は「興奮なし」「不穏行動なし」などの記載が続いていた。このため両親は、拘束の要件を欠いていたと主張。また、身体拘束中は肺血栓塞栓症の発症リスクが高まるのに予防策をとらなかった、とも訴える。両親は「身体拘束も知らされず、面会もさせてもらえずに突然、死亡したと連絡があった。納得できない。」と語る。

病院を経営する法人は「亡くなったのは事実だが、訴状を見ていないので、コメントはできない」としている。

身体拘束倍増 相次ぐ訴訟

2015年の厚生労働省の調査では、精神科の病院で身体拘束を受けている患者は1万人を超え、10年前と比べて約2倍になっている。

昨年5月には、日本で英語教師をしていたニュージーランドの青年（当時27）が、神奈川県内の病院で10日間の身体拘束後に心肺停止状態で発見された。遺族は杏林大学の長谷川利夫

教授（精神医療）と「精神科医療の身体拘束を考える会」を発足させた。

今年7月には、入院直後から拘束され、8日目に拘束を解かれた後に心肺停止となり、その後、肺血栓塞栓症で死亡した女性（当時54）の遺族が東京地裁に提訴している。

長谷川教授は「身体拘束で亡くなるケースは家族に面会させていないことが多い、不必要な身体拘束が、秘密裏に行われていることが問題」と指摘する。（編集委員・大久保真紀）

—練馬区保健相談所 ころの健康相談—

（練馬区ホームページより）

専門医師への相談。受付は予約制。電話での申込。

豊玉保健相談所：地域保健係

電話：03-3992-1188

2018年10月12日（金） 11月19日（金）

両日とも9：30～12：00

北保健相談所：地域保健係 電話：03-3931-1347

2018年10月1日（月） 11月5日（月）

両日とも14：00～16：00

光が丘保健相談所：管理係 電話：03-5997-7722

2018年10月24日（水） 11月28日（水）

両日とも14：00～17：00

石神井保健相談所：管理係 電話：03-3996-0634

2018年10月11日（木）14：00～15：30

10月31日（水）14：00～16：00

11月27日（火）14：00～15：30

大泉保健相談所：管理係 電話03-3921-0217

2018年11月29日（木）（時間は問合せ下さい）

関保健相談所：管理係 電話：03-3929-5381

2018年10月17日（水）11月21日（水）

両日とも14：00～15：30

—練馬家族会主催講演会のご案内—

「長い引きこもりから自立への道へ」

社会資源の利用と息子から学んだこと

…家族の体験から…

講師：狛江精神保健福祉会 狛江さつき会 会長

東京つくし会理事 安藤万寿代氏

日時：11月30日（金） 14：00～16：00

場所：ココネリ3階研修室5 練馬駅北口1分

参加費：無料

内容：まさかわが家の子供が障がい者に。信じがたい衝撃から本人と家族の関わりについてどのように受け止めて、どのように社会資源を利用したかについて。

夏の食事会、冷製パスタと彩り野菜

日時：2018年8月11日 10:00～14:00

場所：光が丘区民センター 2階 調理室

この例年にない酷暑の中、8月11日（土）に夏の食事会が開かれました。当事者4名含めて21名の参加がありました。慣れない厨房での調理はいつもながら戸惑いがありましたが、久しぶりにお会いする方もあって、おしゃべりしながらの楽しいひとときでした。

冷製パスタのトッピングはツナ、ちりめんじゃこ、トマト、オクラ等彩りもよく、自分の好きなものを選んでお皿にのせていきます。美味しくお代わりする方もいらっしゃいました。野菜スープはこの夏の疲れを癒す栄養満点のもの。白玉ぜんざいも美味しかったです。その他、手作りケーキ、トウガンの煮物、茄子とパプリカの煮びたし等、持ち込みもありテーブルの上はにぎやかでいっぱいでした。



最後に志村さんのご指導で、氷の入った袋（塩を入れて）をアイスの材料と共にタオルに包み、両端を二人で持ってブンブン振りまわして作った特製のアイスは格別のお味だったようです。大いに盛り上がり、皆の顔に笑みがあふれていました。

食後、自己紹介とそれぞれの近況等話し合いました。ここでは悩みごと、つらいことなんでも話せます。自分一人で抱え込まないで話せる場があることは、有難いことです。一緒に食事し、笑い合い、なにか大きな家族になったようなあたたかい気持ちになりました。もっとたくさんの方の当事者の方にこの場に参加してほしいと思いました。次回の食事会でもこんな機会があると嬉しいです。
(KT)



— 障害者フェスティバル —

日時：12月2日（土）の10:00から15:00

場所：光が丘区民センター

光が丘公園 ふれあいの径

家族会では恒例の甘酒とバザーの出店をします。

バザー用品当日持ち込み大歓迎！

～心の扉を開く医療がここにはあります～

都市型病院を
目指す



医療法人財団厚生協会

大泉病院

《診療科目》 精神科・神経科・心療内科

〒178-0061 東京都練馬区大泉学園町6-9-1

Tel・03-3924-2111（代表） Fax・03-3924-3389

★診療について★

受付 午前9:00～11:30 午後1:00～3:00

診療日 月曜日～土曜日（水曜日・土曜日は午前のみ）

休診 水曜日・土曜日午後、日曜日、祝祭日、年末年始

受付時間内は、経験豊富な専門医が常時2～3名担当しております

—講演会のご案内—

● 精神科病院の医療現場で今何が
～隔離・身体拘束の実態とこれから～

日時：2018年10月5日(金)

13:30～16:00

場所：東京都障害者福祉会館

田町駅5分 地下鉄三田駅1分

講師：杏林大学教授 長谷川 利夫氏

主催：東京つくし会 電話 3304-1108

参加費：無料

● アウトリーチについて

日時：2018年10月5日(金) 13:00～15:00

場所：精神科医 夏堀 龍暢

講師：烏山病院 中央棟 3F 集会室

千歳烏山駅西口 10分

主催：あかね会

電話：080-5024-3637 松原方

参加費：300円

● これからの精神医療を考える～家族・当事者・
精神科医の三つの立場を持つ私が思う事

日時：2018年10月8日(月・祝)

13:30～16:10

場所：品川区役所第三庁舎 6階会議室

JR 大井町 8分 東急大井町線下神明 5分

講師：児童精神科医 夏苺 郁子氏

主催：品川区かもめ会 電話；3458-6908

参加費：無料

● 障害者の就労をより進めるために

日時：10月11(木) 14:00～16:00

場所：小金井市前原暫定集会施設

武蔵小金井駅 7分

講師：障害者職業カウンセラー 屋富祖 ひかる氏

主催：あじさいの会 電話：042-388-3729

参加費：無料

が
お
秋
・
・
・
・
長
期
入
院
っ
て
？

お
母
さ
ん

秋
風
が
身
に
し
み
る

が
ん
ば
っ
て
長
生
き
す
る
ね



● 思春期における心の病について

日時：10月13(土) 14:00～16:00

場所：陽和病院南館 2階ホール

石神井公園北口成増行バス大泉 2丁目下車 5分

講師：陽和病院精神科医 望月 航氏

主催：陽和病院 電話：3923-0325

参加費：無料 申込：10月12日まで

● 精神障害当事者の人権と尊厳ある生活を考える

日時：10月13(土) 14:00～16:00

場所：日野市生活・保健センター2F 講座室

日野駅⇄高幡不動駅 京王バス

講師：弁護士 池原 毅氏

主催：日野いずみ会 電話：042-592-8993

参加費：無料

● 親亡き後の備えについて

日時：10月13(土) 13:30～16:00

場所：福生市さくら会館 青梅線牛浜駅東口 6分

講師：ファイナンシャルプランナー 村井 英一氏

主催：FHMの会 電話：042-555-7488

参加費：無料

寄り添う心と ころ

精神科急性期治療、高齢化社会に対応した認知症治療病棟
専門医師とスタッフたちが愛情込めて適切に対応します



(交通のご案内)

武蔵関駅(西武新宿線)より 徒歩15分 又は関東バス「荻窪駅行き」「三鷹駅行」にて

慈雲堂前下車徒歩3分

大泉学園駅(西武池袋線)より 西武バス「吉祥寺駅行」にて関町北一丁目下車徒歩10分

(診療科)

精神科 内科

(併設など) 訪問看護ステーション 精神科大規模デイ・ケア/デイナイトケア グループホームまいとりい

♡♡ ここは 武蔵野サンクチュアリ ♡♡

医療法人社団じうんどう 慈雲堂病院

院長 田 邊 英 一

東京都練馬区関町南4-14-53
〒177-0053 TEL. 03(3928)6511

homepage: <http://www.jiundo.or.jp/>

NPO 法人練馬家族会 入会のお誘い

- ・隔月 1 回発行する会報をお届けします。
“みんなねっと”をご希望の方は事務所までご連絡ください。
- ・毎月行なわれる交流会、勉強会及び、福祉施設見学会（年 2 回）、講演会（年 3～4 回）にご参加いただけます。
- ・その他、随時おこなわれる行事には家族揃ってのご参加をお待ちしています。

- ・会 員：年会費 9,000 円（個人、但しお支払い方法は一括払い、4,500 円の 2 回分割払いでも結構です）
 - ・賛助会員：年会費 3000 円（団体可／一口）
- <振込先>
三井住友銀行 中村橋支店
普通預金 口座番号 1588974
口座名義：特定非営利活動法人練馬精神障害者家族会

NPO 法人練馬家族会 10・11 月スケジュール

- | | |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ■ 10 月 7 日（日）10：00～12：00
練馬家族会主催：あすなろ音楽祭
場所：喫茶店 ぶな（江古田駅北口） ■ 10 月 13 日（土）14：00～17：00
日時：2018 年度第 7 回運営&理事会
場所：NPO 法人練馬家族会事務所 ■ 10 月 26 日（金）13：30～16：30
日時：2018 年度第 7 回練馬家族会交流会
場所：区民・産業プラザ（ココネリ）3 階 研修室 5 | <ul style="list-style-type: none"> ■ 11 月 10 日（土）14：00～17：00
日時：2018 年度第 8 回運営&理事会
場所：NPO 法人練馬家族会事務所 ■ 11 月 30 日（金）13：30～16：30
日時：2018 年度第 8 回練馬家族会交流会・勉強会
場所：区民・産業プラザ（ココネリ）3 階 研修室 5 ● 勉強会テーマ「長い引きこもり～から自立への道～」
社会資源の利用と息子から学んだこと…家族の体験から
講師：狛江さつき会 会長 安藤万寿代氏 |
|---|---|

区内各保健相談所「家族の集い」10・11 月スケジュール

※初めての方は、事前に、各保健相談所の家族教室担当保健師か、地域の担当保健師にご連絡ください。

10 月 16 日（火）	11 月 20 日（火）	14:00～16:00	10 月 22 日（月）	11 月 26 日（月）	14:00～16:00
北保健相談所 北町 8-2-11	電話 03-3931-1347		豊玉保健相談所 豊玉北 5-15-19	電話 03-3992-1188	
10 月 16 日（火）	11 月 20 日（火）	10:00～12:00	10 月 22 日（月）	11 月 26 日（月）	14:00～16:00
大泉保健相談所 大泉学園町 5-8-8	電話 03-3921-0217		石神井保健相談所 石神井町 7-3-28	電話 03-3996-0634	
10 月 19 日（金）	11 月 9 日（金）	13:30～15:30	10 月 31 日（水）	11 月 19 日（水）	14:00～16:00
関保健相談所 関町東 1-27-4	電話 03-3929-5381		光が丘保健相談所 光が丘 2-9-6	電話 03-5997-7722	

精神障がい者相談員が電話で相談を伺います。携帯電話は受信専用になっていることをご了承下さい。

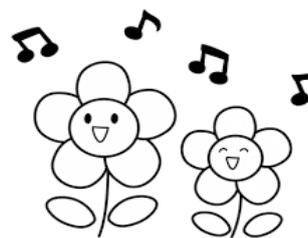
- ・練馬家族会事務所への電話相談： 電話番号 03-3994-3382 火・水・金 13：30～16：30
- ・携帯電話への相談： 松沢 勝 070-4097-2801 月～金 10：00～17：00
 轡田 英夫 070-3975-9372 同上 渡邊ミツ子 070-3965-8791 同上
 工藤 邦子 070-3991-4924 同上 吉井 美恵 070-4076-9647 同上

NPO 法人練馬家族会主催 ♪♪ 第 2 回あすなろ音楽祭

日時：2018 年 10 月 7 日（日）10：00～12：00

場所：喫茶店 ぶな（江古田駅北口 5 分）電話：03-5999-2961

- 家族会員による演奏＊合唱
- ギター演奏：8 弦ギター演奏者 池田宏里氏（15 歳でソロデビュー、いったん活動停止後 2009 年より再開し 2016 年紀尾井ホールにて演奏し好評をえる。）
- 参加費：1000 円、当事者は無料です。



皆さまのご参加をお待ちしています。

大泉学園北口徒歩 3 分

医療法人社団地精会

大泉 金杉クリニック

神経科・精神科・心療内科

～精神科デイケア・ナイトケア・訪問看護～

http://www.kanasugi-clinic.com
Tel 03-5905-5511（予約制）

練馬家族会 会報 2018 年 10・11 月号
2003 年 11 月創刊 通巻第 175・176 号

発行日：2018 年 10 月 20 日
発行所：特定非営利活動法人
練馬精神障害者家族会 事務局
〒176-0002 東京都練馬区桜台 1 丁目
6-3 吉村ビル 303

発行人：NPO 法人練馬家族会
編集：NPO 法人練馬家族会
編集委員会